

こんにちは！
めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は、「**デモ機による分解能力試験**」の記事をお届けします。
まだまだ寒い日々が続きますが、日の出は少しずつ早くなっています。
春はすぐそこまで来ています。(担当：齊藤)

デモ機による分解能力試験

(株)ほった様の海津工場に設置したデモ機にて**分解能力試験**を実施しました。一番の目的は、**現物による減量率の確認**です。



デモ機は**MDT-150**、最大処理能力150kg/日、標準処理能力120kg/日の機器です。

事前の調査にて1日の廃棄量は、平均120kg程度と確認しました。



1/22、**拔出し**後から試験スタート。工場から出た**すべての野菜くずをそのままの形で**、塩蔵品も**選別せず**投入です。

1/29、一週間経ちましたが微生物分解は順調です。温度(35℃)、含水率も問題なく、**確実に減量**しています。

2/5、工場の実働10日にて試験は終了。次の**拔出し**のタイミングとしては**まだ早く**、余裕のある状態です。



その後
豊田産業による
保守管理です。

- ・拔出し作業
- ・微生物投入



計量

最後に**計量、減量率の確認**です。

- ・拔出した生成物 8袋 計118kg
- ・機器への投入量見込(10日)計1.2トン
- ・減量率 90%

(株)ほった様へ提出した**試算表**どおりです。この**減量**が大きな**コスト削減**に繋がります。



また、従業員の方による**生ゴミ処理機のご評価**も進んでいます。

既に今まで使用していた**廃棄BOX**はきれいに洗浄して移動されています。

「これで**鳥や虫**が寄ってくることも無いよね」
「**廃棄BOX**の周りが**ジメジメ**していいやだった。これで大丈夫」
「**BOX**が無くなって**すごく広がった**。」
「**殺虫剤代削減!**」
「これで**夏場の臭い**も大丈夫だよね」



コストダウン、**作業手間(脱水工程)**が無くなったこととともに、**生ゴミ処理機**の設置を**契機**に工場内の**衛生環境の改善**のため、各部門で様々な**検討が始まっています**。

